

JR東京駅の駅弁

駅弁づくしさらに充実

東京駅の売り場刷新 200種以上用意

JR東京駅にある日本最大級の駅弁売り場が9日、通りの反対側に移転してリニューアルオープンした。日本各地から駅弁の品ぞろえをさらに充実させ、200種以上を取り扱う。「駅弁文化を支える拠点に」と意気込む。

店名は「駅弁屋 祭^{まつり}」。丸の内駅舎が復元された4年前、1階の中央通路にオープンした。今回、2020年に向けた駅構内・周辺の整備に伴い、通路の北側から南側に移った。面積はほぼ同じだが、売り場を工夫し、キャリパーバッグの利用者や車椅子の人でも動きやすいように通路を配置したという。実演販売コーナーは祭りの象徴「山車」

リニューアル初日の昼どき、にぎわう店内。東京駅



ら、北海道から九州まで広げ、常時170種以上を取り扱う店に。今回のリニューアルに際し、200種以上に広げた。開業記念で、加賀温泉駅の「のどぐろ」と香箱蟹弁当^{こうせいかい}など東京駅初となる38種を販売するほか、東京駅を代表する人気3種を同時に味わえる今月だけの期間限定品なども売り出した。

■「駅弁屋 祭」の人気ベスト5（8～10月の販売個数による）

移転前の販売数は平日で1日7千食、週末は1万食を超えた。販売を担う日本レストランエンタプライズ総務部の泉和夫・副部長(60)は無類の駅弁好き。「駅弁は地方に行くと味わうものだが、売れる数には限りがある。東京駅で各地の駅弁を売っていくことで文化を下支えしていくべし」と話す。（井上恵一朗）



1位
牛肉どまん中
米沢駅（山形県）



2位
黒毛和牛すきやき牛肉重
米沢駅



3位
いかめし
森駅（北海道）



4位
極撰炭火焼き牛たん弁当
仙台駅（宮城県）



5位
平泉うにごはん
一ノ関駅（岩手県）